

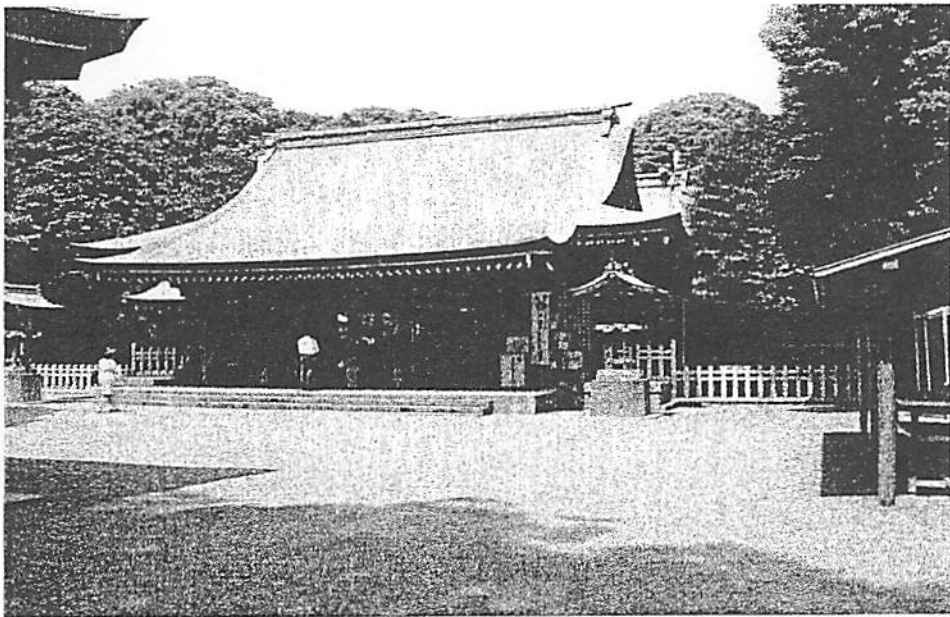
平成 20 年 10 月 22 日 (水)

第 384 回史跡めぐり

鉄道博物館・県立歴史と民俗の博物館見学と

秋たけなわの大宮公園散策

NPO 法人 越谷市郷土研究会

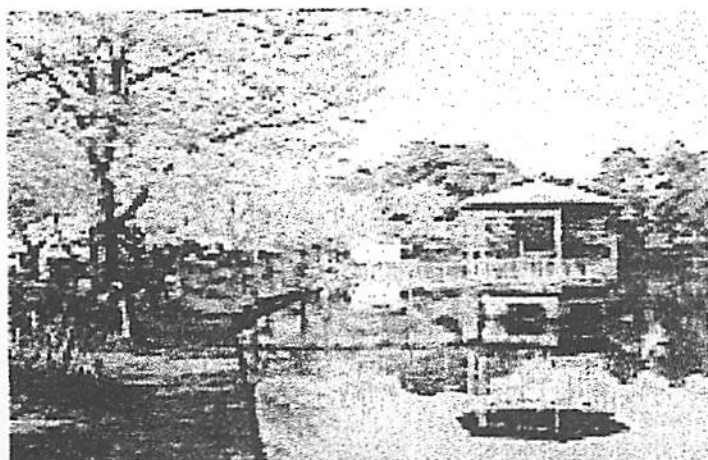


(大宮・氷川神社)

## 第 384 回史跡めぐり

### 鉄道博物館・県立歴史と民俗の博物館見学と 秋たけなわの大宮公園散策

- ・期 日 平成 20 年 10 月 22 日 (水)
- ・集合場所 JR 南越谷駅南口
- ・集合時間 8 時 40 分
- ・コ ー ス
  - ・南越谷駅=(JR)=南浦和駅=(JR)=大宮駅=(ニューシャトル)=鉄道博物館駅…鉄道博物館
  - ・鉄道博物館駅=(ニューシャトル)=大宮駅=(東武)=大宮公園駅…県立歴史と民俗の博物館(昼食)
  - ・県立歴史と民俗の博物館…(大宮公園)…氷川神社…北大宮駅=(東武)=春日部駅=(東武)=南越谷駅  
(午後 5 時ごろ解散予定・歩行距離 約 2.2 km)
- ・昼 食 お弁当持参か、鉄道博物館で駅弁を買って下さい
- ・参加費 3,000 円(交通費・入館料・資料代・保険料等)
- ・案内者 幹事長 藤川吉洋



(大宮公園)

# さいたま新都心から大宮盆裁村の観光コース

おまかせの  
緑を歩く  
散策ポイント



## ◆旧大宮市

大宮市はその名の通り、武蔵国一ノ宮氷川神社の門前町にその発祥を見る。

氷川神社は、社記の伝える五代孝昭天皇御宇3年（紀元前473）戊辰4月<sup>ひつじ</sup>末の日の創建という説は信じ難いにしても、延喜式神名帳記載の古社である。社は古くから歴代皇室の崇敬を受け、また中世以降は、鎌倉幕府の各将軍、足利将軍を初めとして多くの武将の信仰の対象となり、近世初頭徳川幕府から300石の社領を寄せられ、数次の造営も公の手によってなされて維新に至っている。維新後、桓武天皇が平安遷都に際して、賀茂社にご親拝になった故事にならって、明治天皇は江戸入城直後の明治元年10月28日氷川神社にご親拝になり、勅祭の社と定め、同4年官幣大社に列せられたのである。

中山道はもと氷川参道を通っていたが、寛永5年（1628）伊奈備前守忠治の指揮で現在の中山道がつくられた。この時氷川参道にあった民家を移して町並みとし宿勢を整えたが、以来大宮は宿場町としての性格を強くしていった。ただし宿場町としての規模はそれほど大きくはなかったが、明治になって、天皇の氷川神社へのご親拝があり、同じころ大宮県が置かれることによって、一時はこの地方の祭政の中心地となったかの観を呈するに至った。

だが日ならずして県庁は浦和に移され大宮宿は次第にさびれていった。明治16年中山道に並行して鉄道（現在の高崎線）が敷設されたときも、汽車は浦和から上尾へ直行し、大宮は無視されて駅の開設すら見られなかった程である。



（氷川神社参道）

しかし翌々18年現在の東北本線の敷設にあたり、宿の有志の悲願と血のにじむような努力がみのって、高崎線・東北本線の分岐点に大宮駅が開設され、これが一転機となって、宿勢も漸く息を吹きかえした。

こうして、同22年の町村制の施行とともに、土手宿村・上天沼村・下天沼村の四か村を併せて町村をしいたが、同27年日本鉄道会社の工場ができ、その後鉄道関係の諸施設が次々とでき、「鉄道の町」としての大宮市の基礎が固められたのである。

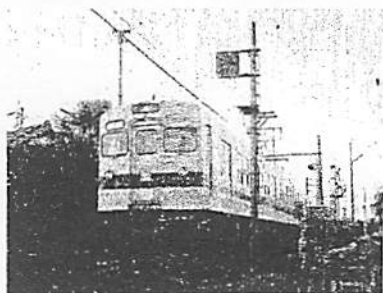


（JR大宮駅）

大正時代には、現在市域になっている荒川の改修工事が開始され、町には電灯がとり、水道が引かれる等のことがあったが、関東大震災を経て昭和に入ると、東京の近郊開発の波が高まって、昭和4年には総武鉄道大宮-粕壁間（現東武野田線）が開通、同7年省線大宮-赤羽間（現京浜東北線）に電車の運転が開始された。かくて大宮と東京との距離は著しく縮まり、大宮は東京の衛星都市としての発展が約束され、同年木崎村の北袋地区を合併した。

昭和15年7月国鉄川越線が開通した。これは軍需物資の輸送のためという性格が強かったが、大宮周辺地区の開発にも大きな役割をもった。

ついで同年11月3日、三橋村・日進村・宮原村・大砂土村の四か村を合併して市制をしくこととなった。



(東武野田線)

太平洋戦争の末期、市街地の一部が戦火をこうむったが、戦後の発展はめざましく、昭和30年1月1日には、指扇村・馬宮村・植水村・片柳村・七里村・春岡村と合併し、更に平成13年5月には浦和・大宮・与野の3市が合併し、さいたま市となった。

#### \*人口の推移

- ・大宮宿 天保14年(1843) 1,508人、家屋 319軒  
(越谷宿 同年 4,603人 1,005軒)
- ・大宮市 昭和30年 約144,500人  
平成13年 約458,200人(大宮・浦和・与野合併時)

#### ◆埼玉新都市交通株式会社

埼玉県と東日本旅客鉄道(JR 東日本)などが出資する第三セクター会社である。埼玉県で新交通システム(ゴムタイヤ式新交通システムの伊奈線「ニューシャトル」)1路線を運営する。

東北・上越新幹線の建設に伴い、両新幹線の分岐点が設けられる伊奈町では、町域が三つに分断されるとして、新幹線反対運動が起こった。

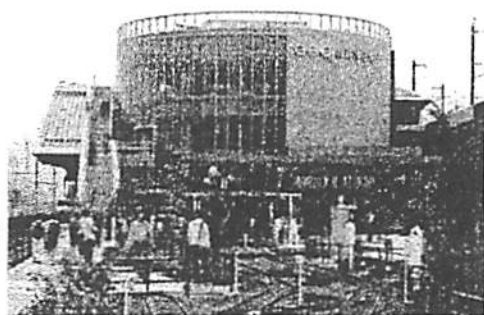
そこで地域住民(旧大宮市・上尾市・伊奈町)への見返りとして都市鉄道を建設することとなった。開業は昭和58年。



(ニューシャトル)

#### ◆鉄道博物館（さいたま市大宮区大成町）

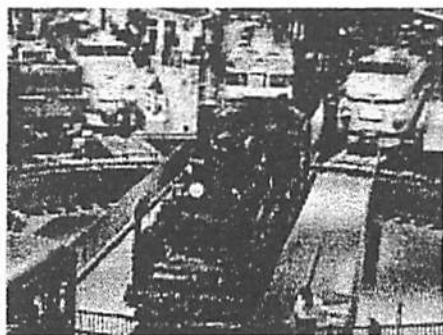
東日本旅客鉄道（JR 東日本）の創立20周年記念事業のメインプロジェクトとして、2006年5月14日に閉館した交通博物館（千代田区神田須田町）に替わる施設として、2007年10月14日の鉄道の日に開館した。財団法人東日本鉄道文化財団が運営している。



（鉄道博物館）

#### 鉄道博物館コンセプト

1. 日本及び世界の鉄道に関わる遺産・資料に加え、国鉄改革や JR 東日本に関する資料を体系的に保存し、調査研究を行う「鉄道博物館」とします。
2. 鉄道システムの変遷を、車両等の実物展示を柱に、それぞれの時代背景等を交えながら、産業史として物語る「歴史博物館」として位置づけます。
3. 鉄道の原理・仕組みと最新（将来構想を含む）の鉄道技術について、子供たちが、模型やシミュレーション、遊戯器具等を活用しながら、体験的に学習する「教育博物館」としての性格も持ち合わせます。



（鉄道博物館内部）

#### ◆県立歴史と民俗の博物館

歴史と民俗の博物館は、埼玉の歴史と民俗に関する資料を収集し、総合的に調査研究することにより、埼玉の地域的特性を明らかにし、その成果を展示公開・情報発信するとともに、県民の学習活動や交流の場となることにより、県民各層の心豊かなくらしと新たな文化の創造に寄与する歴史系総合博物館である。前身は1971年に現在地に開館した埼玉県立博物館で、2006年に埼玉県立民俗文化センターと統合して現名称となった。



（歴史と民俗の博物館）

#### ○沿革

前身である埼玉県立博物館は埼玉県の設置100周年を祝う「埼玉百年」記念事業のメインプロジェクトとして1970年に竣工し、翌1971年（昭和46年）11月1日に開館し、6日に公開を開始した。設計は前川國男。開館当時、都道府県立の人文系総合博物館としては画期的な規模と内容を持ち、以後新設された他の都道府県立博物館に影響を与えるところが大きかった。

埼玉県立博物館が建設される以前は、埼玉県立文化会館がこの地にあった。ここには1955年（昭和30年）に附設郷土展示場が置かれ、1957年（昭和32年）には附設郷土展示室となり将来的には一大的な郷土館にしたいとしていた。数年後、県立博物館の設置構想が打ち出されると県内各地から誘致運動が始まった。名乗りを挙げたのは、浦和・熊谷・東松山・大宮の各市だった。協議の末、1966年（昭和41年）に、建設地が大宮と決定した。交通の利便性と文化会館の活動が評価されたのである。

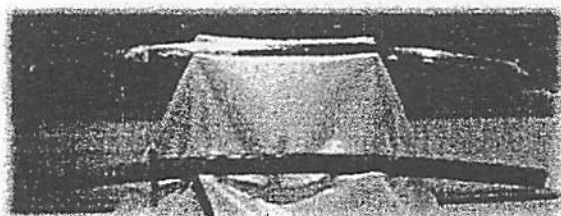
## ○主な収蔵品

国宝2点・国指定重要有形民俗文化財1件

県指定有形文化財12点等

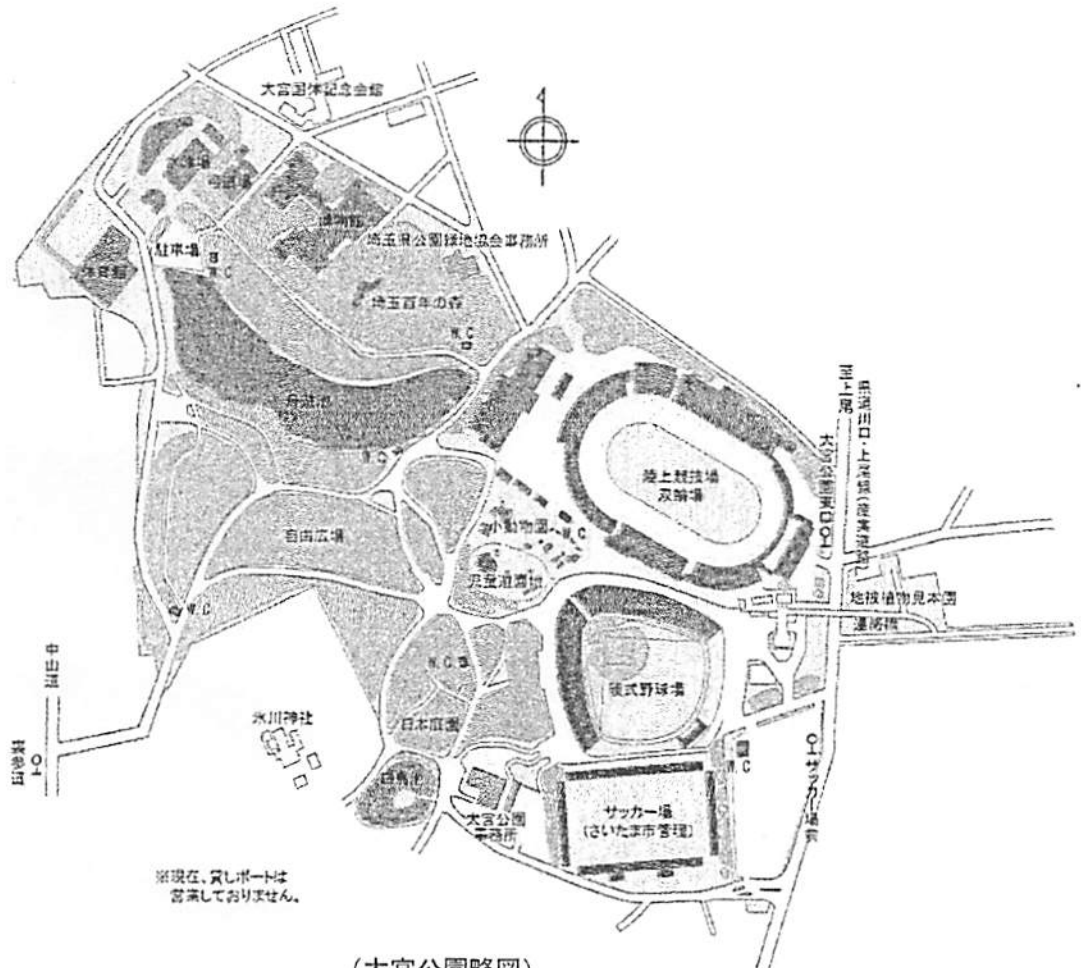
### ▶国宝の太刀、短刀

- ・太刀 銘備前国長船住左兵衛景光作者進士三郎景政  
年代 鎌倉時代 嘉暦4年（1329）
- ・短刀 銘備州長船住景光  
年代 鎌倉時代 元亨3年（1323）



（参考・日本刀）

## ◆大宮公園



(大宮公園略図)

現在の埼玉県立大宮公園は、以前は「武蔵国一宮氷川神社公園」、一般には、「氷川公園」と呼ばれ、その名が示すように氷川神社と深い関係をもっていた。

明治政府は、宗教政策上、寺院・神社の整理を行うとともに、その領地の大部分を上地といって国有地とした。氷川公園の始まりは、明治6年(1873)1月、太政官(明治政府)が各府県に対して寺社の境内地等名所・旧跡地に公園を設定するから、その候補地を選定するようにと布告を出した事による。埼玉県では明治7

年(1874)11月、浦和<sup>つきのみや</sup>調宮神社境内を借楽園とする布告を出している。これが浦和公園(調公園)の前身であるが、このころ大宮氷川神社旧境内地等も若干の樹木の伐採、小路をつけたくらいの借楽園が設定されたようである。それはまだ公園とは名のみのものであったらしい。



氷川公園を本格的なものにしようとする動きは、日本鉄道東北本線大宮駅の開設運動と並行して行われた。すなわち明治17年(1884)3月、大宮宿外十カ村の代表者矢部忠右衛門・白井助七・岩井右衛門ら43名は、県令吉田清英に「公園



(大宮公園)

及び維持方法ノ儀ニ付願上ゲ奉り候」という請願書を提出した。これによると氷川神社が上地した官有地(国有地)のうち二ヶ所合わせて13町3反1畝8歩を、人民の散歩、運動、健康保全のために人民借案遊園の地とされたいこと、維持費としては有志の者が金千円を拠出、銀行に預金し利息をそれにあて、また花、樹木等の寄付をつのるとして

いる。  
当時民間では、まだ測量や土木工事の監督施行の能力がなかったので、県に対して「土地の実測やいばら、雑木を除去整地をしたり、公園内の設備の設計、施工をしたいが、このような仕事になれた者がいないので着手もできないため、県庁で指図をしてもらいたい」という願書を差出している。このため8月には県庁内に、29人からなる世話係が置かれ、実測や規則の制定など諸般の準備が進められ、12月には東京の庭園師佐々木某に設計を依頼することとなった。

次第に公園の形も整い、明治18年9月22日には開園式が挙行された。朝野新聞は「22、23両日の開園式には、煙火数百本が打ち上げられ、氏子は山車、屋台を出し、その他種々の奉納が行われた。氷川公園は、氷川神社を含む東西南北十余町の四時佳景の地である。」と報じている。

公園の創設費は民間の寄付と園内の伐採した樹木の売り払った金を元にした。県営とは名前だけで埼玉県の前算では特別会計とされ維持・運営には苦勞を伴った。拠出金の利息で運営する予定であったが当時不景気となり、利息での拠出ができなくなった。その管理は北足立新座郡役所から北足立郡大宮町へ移ったが、公園運営に色々問題が起り明治31年(1898)4月に直接管理に至った。そして埼玉県で初めての県営公園として整備される事となる。大正10年(1921)に埼玉

県に提出された林学博士本多静六と田村剛による「氷川公園改良計画」により、大規模な公園整備・拡張が進められ桜の植樹と埼玉県営大宮公園球場などが整備された。

昭和37年（1962）に都市計画公園として決定され、昭和55年に「第二公園」が大宮公園の東側に、更に平成13年には「第三公園」が第二公園の南側に開設された。

### ○幻の東京オリンピックと陸上競技場・双輪場建設

大宮公園の陸上競技場兼双輪場は、幻となった第12回東京オリンピック大会（昭和15年開催予定）のために建設されたものです。昭和11年8月の東京大会開催決定を受けて、昭和5年に着工されながらも建設が中断されていた陸上競技場の外側に一周500m、最大傾斜40%のバンクを設置するもので、公園付近に合宿選手のオリンピック村を招致し、陸上競技場はその練習場とし、同競技場内には自転車競技場を併置してその開催会場とすることとなり、この年の夏から本格的な工事が始められました。

しかしながら、日中事変の影響で昭和13年7月、東京大会の中止が決まりましたが建設は続けられ、昭和14年9月に双輪場が、翌15年6月には陸上競技場が完成しました。双輪場はドイツ自転車連盟の好意で入手したペドローム競走路の設計図に基づく東洋初の近代的な施設でした。

オリンピックに代わり、昭和15年6月6日には「紀元二千六百年記念東亜大会」の自転車競技が、7月20日・21日には、第1回県民体育大会が開催されました。

また、昭和24年1月15日には東日本初となる第1回大宮競輪も開催されました。

### ▶幻の東京オリンピック大会

昭和11年（1936）7月31日、ベルリンの高級ホテル・アドロンでのIOC（国際オリンピック委員会）の会議で、第12回オリンピック（第11回はベルリン）の開催地は東京と決まった。

東京オリンピックが開催される昭和15年（1940）は皇紀2600年に当たり、日本では数多くの壮大な国家イベントが予定されていました。その中でもオリンピックは、万博（昭和15年3月15日～8月31日・メイン会場は中央区晴海）と並ぶ大イベントと位置づけられたのです。

開会式は昭和15年9月21日(土)、閉会式は10月6日(日)、会場は議論の末、世田谷の駒沢をメイン会場とすることが決まりました。



(幻の東京オリンピックのポスター)

昭和12年7月7日、中国で盧溝橋事件が勃発し、日中戦争が始まっていました。戦時下、資源の統制はすすみ、昭和13年6月には鉄鋼配給の統制も決定してしまいました。メイン競技場に必要鉄は1,000トン。やむなく東京市はスタジアムの一部を木造に設計変更、必要とする鉄を600トンにまで切り詰めましたが、それでも見通しは立ちませんでした。予算面でも、競技場建設に必要な800万円は、当時の国家予算の0.3%にも相当する巨大な金額

でした。

その上、イギリスなどは戦争が続く限り、選手を派遣しないと公表。以後、ボイコット国が増えていった事も、オリンピック開催にとって、マイナスでした。

かくて、昭和13年7月15日、政府は万国博覧会と東京オリンピック開催返上を閣議決定します。日本の威信をかけた国家イベントは、こうして幻に終わったのでした。

## ○青木昆陽先生之碑

衆議院議員勲一等粕谷義三謹書

### ▶碑文

昆陽青木先生ハ元禄11年江戸日本橋ニ生  
ル

學東西ヲ兼ネ篤行大ニ聞工偶大岡越前守ノ  
知ル所トナリ

□サレテ幕府ニ仕ヘ甘藷栽培ノ普及ヲ圖リ  
テ民生ヲ濟フ所多ク甘藷先生ノ名遠近ニ高  
シ

我縣亦其惠澤ニ浴シ遂ニ特産地トナレリ

我組合ハ先生ノ遺徳ヲ敬慕シ地ヲ氷川公園ニ相シ碑ヲ建テ其徳ヲ頌シ之ヲ不朽ニ  
傳フト云爾



(青木昆陽先生之碑)

昭和4年8月 埼玉甘藷商同業組合  
顧問正七位勲五等口谷周蔵撰併書

○一等水準点

昭和60年建設省国土地理院設置 標高 15.54m

▶一等水準点

正確な高さを求める測量を行うために、国土地理院が作った高さの基準となる点のことです。国土地理院の管理している水準点は一等と二等があり、一等は主な国道沿いに、2kmに1点の間隔で設置されている。

◆氷川神社

氷川神社は足立郡を中心に武蔵国（東京都・埼玉県）各地にある氷川神社の総本社である。式内社、武蔵国一宮、勅祭社で旧社格は官幣大社。大宮の地名は氷川神社を「大いなる宮居」すなわち「大宮」と称えたことに由来する。武州六大明神の1つとされる。他の氷川神社と区別するために「大宮氷川神社」とも呼ばれる。

すきのおのみこと いなだひめのみこと おおなむちのみこと  
須佐之男命・稲田姫命・大己貴命を主祭神とする。特に明治以後は国都が武蔵国に設置されたことから、四方拝などの宮中祭祀の対象に加えられるなど、皇室からも重んじられた。

社伝によれば、孝昭天皇3年（紀元前473）4月に創建されたというが、倭奴国王印が1世紀の中頃のことであり、卑弥呼が3世紀前半の人物であり、倭の五王が5世紀の人物であるということを見ると、氷川神社の創建が紀元前5世紀であるとは考え難いという意見もある。

また、本社には、景行天皇の皇子・日本武尊が東征の際に負傷し、夢枕に現れた老人の教えに従って当社へ詣でたところ、立てるようになったという伝説が残されており、このことから本地域を足立と称するようになったとされる。

また、成務天皇の時代にえたもひのみこと兄多毛比命が武蔵国造となり、当社を崇敬した。この一帯は出雲族が開拓した地であり、武蔵国造は出雲国造と同族とされ、社名の「氷川」も出雲の「簸川」に由来するという説がある。

# 武蔵一宮 氷川神社

御祭神 須佐之男命 すさのおのをこと 稲田姫命 いなだひめのをこと 大己貴命 おこなむらのをこと

例祭日 八月一日

## 御由緒

今から二千四百有余年の昔、第五代孝昭天皇の御代三年四月の御創立で、聖武天皇の御代各国内一の宮の制を定められた時、武蔵一の宮と称えられ、醍醐天皇の朝に定められた延喜式には名神大社として月次新嘗会上官幣に預り、又臨時祭にも奉幣に預ったことが記されています。明治の御代に至っては元年（一八六八）十月二十八日明治天皇当神社に行幸、御親祭なされ、当国の鎮守勅祭の社と定められ、次いで四年五月官幣大社に列せられました。年々の例大祭には勅使の御差遣、東游の御奉納などがあり、荘厳肅な祭儀が行われます。

又、氷川神社名の社は大宮を中心に、埼玉県下及び東京都下、神奈川県下に及びその数は二百八十数社をかぞえます。武蔵国造の子孫がこの大宮の地を本拠として民族的政治的に著しい発展をしたことを物語っているものと考えられます。

## 社殿の沿革

上代のことは詳かにすることが出来ませんが、治承四年（一一八〇）源頼朝公が土肥次郎実平に命じて社殿を再建、文禄五年（一五九五）八月には徳川氏、伊奈備前守忠次を奉行として、社頭を残らず造営せしめ、次いで寛文七年（一六六七）三月には阿部豊後守を奉行として社殿の建立をしております。以来幾度の御造営あつて今の御社殿は昭和十五年（一九四〇）六月の竣工で、流造りであります。

## 社頭風致

神社は元神領の大宮公園を控え、広大な聖地として、境内の広さ約三万坪、古杉老松は古えをしのばせ参道の長さは中山道の一の鳥居から約二キロメートル、田園道十六号せいの二の鳥居は高さ十三メートルで、木造では関東一の高さをほこります。境内には楼門あり、舞殿あり、神橋あり、池水満々、四時の眺め輪奐の美を極め、靈氣おのずと襟を正さします。

## 境内神社

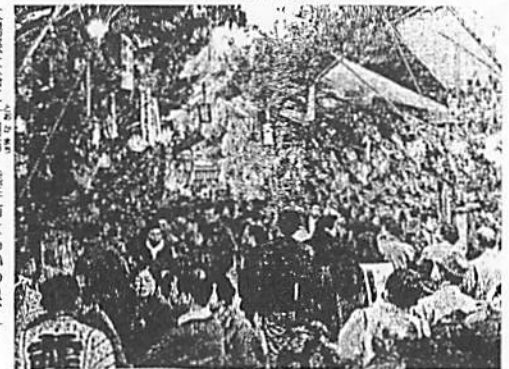
- 摂社 門客人神社
- 摂社 天津神社
- 摂社 宗像神社
- 末社 山祇神社
- 末社 石上神社
- 末社 愛宕神社
- 末社 雷神社
- 末社 住吉神社
- 末社 神明神社
- 末社 天満神社
- 末社 松尾神社
- 末社 御嶽神社
- 末社 稲荷神社
- 足摩乳命
- 手摩乳命
- 少彦名命
- 多起理比売命
- 市寸鳥比売命
- 田寸津比売命
- 大山祇命
- 布都御魂命
- 迴具土命
- 大雷命
- 底筒男命
- 中筒男命
- 上筒男命
- 天照大御神
- 菅原真公
- 大山山昨命
- 大己貴命
- 少彦名命
- 倉稲魂命

## 主な恒例祭儀

歳旦祭	一月一日
節分祭	二月節分日
折年祭	二月十七日
郷神祭	三月十五日
鎮花祭	四月五・六・七日
御鎮座祭	五月九日
道饗祭	五月二十一日
粽神事	六月五日
大祓式	六月三十日
例大祭	八月一日
神幸祭	八月二日
抜穂神事	十月九日
朔嘗祭	十月二十一日
新嘗祭	十一月二十三日
大湯祭	十二月十日
誓沼祭	十二月十一日

この外、毎月一日には月次祭、十五日には献詠祭、国民奉祝の日にはそれぞれ祭事が行われます。

大湯祭（社頭の賑い）



大湯祭は俗に十日市・熊手市ともいわれ、十二日間に亘る長尺祭典です。十二月十日には境内に繰起の露店棚比し、西の市として全田的に有名です。

例大祭（勅使の参向）



### 参考資料

大宮市史（大宮市発行）  
大宮のむかしといま（大宮市発行）  
大宮の地名（秋山喜久夫著）  
鉄道博物館HP・パンフレット  
埼玉新都市交通株式会社HP  
おおみやの緑を歩く散策ポイント  
（さいたま市大宮総合行政センター）  
大宮公園の歴史探訪  
（大宮公園管理事務所）  
氷川神社の参道から大宮公園  
（越谷市郷土研究会発行）  
フリー百科事典「ウィキペディア」  
氷川神社パンフレット